



SSH通信2015

Vol. 6 [H27.11.20]



今年度も半分(と1ヶ月ちょっと)が過ぎて…SSH部長よりひと言。

SSH 夏休み～9月までの活動 特集号その②

～SSH 各事業の意義～

「自然科学への視野拡大」をはかって、SSH 事業を企画しています。その中には、実験講座や英語プレゼン講座、Skype 交流など希望者を対象としたものも多くあります。昨年実施した出前授業(工学)では、参加前「自動車とか工学は自分には無関係!」と言っていた生徒たちが、

「視野が広がった」「物理を学ぶ意義が分かった」と目を輝かせていました。彼女たちがそのまま工学系に進むかどうかはわかりませんが、「視野拡大」につながっていることは確かです。これからも様々な事業に積極的に参加して下さい。(SSH 部部長 吉永 政史)

☆ 中学生のための科学英語ディベート講座 8月4日(火) 本校1年教室

参加者: ディベート部1、2年生 中学生希望者(氏家中・南河内二中・日光東中・宇大附属中・宇短大附属中)

宇女高の1年生にモデルディベートをしてもらった後、中学生にも実際に体験してもらうために宇女高生と一緒に準備をし、試合をもらった。準備時間が短かったにも関わらず、試合ができていたことに驚いた。中学生とディベートを行える機会は滅多にないので、私たちも貴重な体験をすることができた。こういった活動がより盛んに行われるとよいと感じた。

(2年5組 M・A)



今回の講座には中学生約10名が参加し、ディベート部のみなんでやり方などを教え、実際に試合を行った。中学生の熱心な様子に、私たちも一生懸命教えようという気持ちになり、できる限りのことをした。自分の考えを英語で話すことは簡単なことではないが、それができた時の中学生の笑顔を見て、達成感を感じることが大切だと改めて思った。私たちも目標を達成し、達成感を味わいたいと思う。

(1年6組 U・Y)



☆ ウィルス学講座 in 獨協医科大学 8月7日(金)～8日(土)

参加者: 2年生希望者20名



ウィルス学講座では、文字通りウィルスについての基礎知識を学び、実際にインフルエンザの迅速診断やT4ファージを大腸菌に感染させるという実験も行った。また、電子顕微鏡で細胞を見せていただいた。この講座を通して、医療の分野においても研究というのは非常に大切で、私たちが病気になってもまた健康になれるのは、医療を支え、そして発展させていく研究者がいるからだと感じた。

(2年4組 F・S)



電子顕微鏡で観察したり細胞にウィルスを感染させたりと、貴重な体験をさせていただいた。その中でも、鶏の赤血球を用いた血液凝集の実験が面白く、先生方の解説もとても興味深いものだった。私は今回の体験を通して、視野を広げることができた。1つではなく様々な視点から見ることで新たな発見があるということ、身をもって感じた。素敵な体験をありがとうございました。(2年4組 S・Y)

☆ **大学実験講座 in 宇都宮大** 8月21日(金)

参加者：2年生希望者 31名

- ・物理「光の性質」 堀田直巳教授
- ・化学「マイナス 200℃の世界」山田洋一教授
- ・生物「サカナの受精または染色体観察」

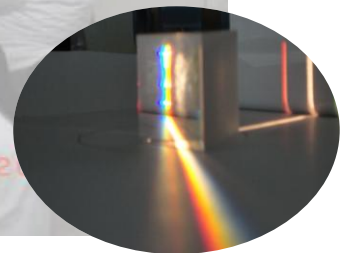
井口智文教授

私が参加した化学の講座では、液体窒素を使って様々なものを冷却し、状態変化を観察した。中でも最も興味深かったのが、銅線を冷却して電流を流れやすくする実験と、浮き磁石の状態となるマイスナー効果の実験だった。普段の教科書での授業では味わえない「どうしてこうなるのだろう。」という感動があって、化学を学ぶ上での初心にかえることができた。(2年3組 I・M)



昨年この講座に参加して関心を持ったので、また参加しようと決心した。今年はタナゴを解剖して染色体を観察するという内容のものであった。文系の人でもとても楽しめる内容なので、来年度もたくさん参加して欲しいと思う。

(2年7組 T・A)



☆ **第2回 Skype 交流 with オーストラリアの高校生** 9月7日(月)・8日(火) 生物講義室

参加者：1年生希望者 15名・2年 SS クラス生徒 3名・2-3 アビー(Abby), 1-7 マリー(Marie)

相手校：John Monash Science School (Australia)



今回交流に参加すると同時に、英語でのコミュニケーションの手助けをしてくれたアメリカからの留学生アビーとドイツからの留学生マリーに、国際交流を実践している立場からアドバイスをいただきました。



The Skype talk with the Australian students was really fun and eye-opening. It was cool seeing everyone trying to talk in each other's respective languages. Surprisingly, I was one of more outspoken students during the meeting. Even though my Japanese is obviously not as good as the other Japanese students.

My advice for the 1st years is this:

- ☆The kids you were talking English to were also unsure about Japanese. It's OK to make mistakes! They understand they'll make mistakes, too. The best way to learn is to try! You can learn a lot from your mistakes. I know.
- ☆Speak loudly and confidently. It is useless if they cannot hear you.
- ☆If you are really not sure, then write down the questions you might have. This is not a bad thing. Don't be ashamed!
- ☆This Skype interview is probably the best way to practice your English. The Australian students are native speakers! Take advantage of this opportunity. You can do it!

While some jokes and information might get lost in translation, I think these Skype interviews are so helpful. You get first hand experience of what the other culture and language is like. I hope the school should continue to do more sessions in the future.

(2-3 Abby)



You don't always have the opportunity to talk with people from another country, so I was happy to learn about a different culture. Learning about the culture from foreign people is necessary to understand each other and to get along well.

But each country has its own language which makes it more difficult to communicate, so being enthusiastic towards learning a language and having better communication skills are very important.

This is the first step to learning about a different culture and the world.

(1-7 Marie)

